

⑨高温物との
接触

デッキ裏で上向きガス流し作業中、 火の粉で作業服が燃え上る

発生状況



デッキ裏の足場上で貫通パイプの仮付け部を上向きでガス流しをしている時、火の粉により作業服が燃え、胸部及び背中を火傷した

原因

- ✓ 適正な難燃性保護具を着装していなかった。消火器や消火水がなかった
- ✓ 作業服と安全帯の間に火の粉が溜まっていることに気付かなかった
- ✓ 作業服が燃える危険性や作業姿勢についての具体的な指導が不足していた



防止対策

- ✓ 適正な難燃性保護具の着用を徹底させ、消火器または消火水(ペットボトル等)を携帯させる
- ✓ 火気作業のリスクを洗い出し、上向き姿勢や狭隘部の作業の減少を図る
- ✓ 火気作業時における危険性、安全な身体の位置・姿勢などの指導を徹底



POINT!

適正な難燃性保護具の着用徹底！



DATA

発生年月日
2007.05.10

発生場所	作業名・作業内容	死傷病名	職種	管絃職
建造船バラスト タンク内	配管作業	火傷による 低酸素脳症	社/協	協力員
			年齢	23才
			経験年数	2年

- 火傷を負った時の対応

熱傷局所は直ちに水で冷却。場合によっては水にひたした清潔なタオルで代用する。

衣服は無理に脱がすと水疱が破れて治りにくくなるので、衣服を切って脱がせる。熱傷の応急処置では、できるだけ水疱を温存する。水疱は最良の被覆材です。